

平成28年度 川西市立川西北幼稚園評価・学校関係者評価報告書

川西市立川西北幼稚園

1 教育目標

教育目標「心身ともにたくましく 心豊かな子どもを育てる」を目指し、人間尊重の精神を基盤に、子どもの視点に立って一人一人が自己実現できる保育の創造を図る。

2 経営方針

- 子ども一人一人の可能性が発揮され、自己実現を図ることのできる保育の創造に努める。
- 教職員の専門性を磨き、資質向上を図ることができる研修に努める。
- 家庭、地域との連携を深め、地域の子育て支援に努める。

3 幼稚園自己評価結果

○実施時期 平成28年12月12日～15日

○対象 保護者、全職員

*A そう思う B 少し思う C あまり思わない D 全く思わない 各問に A から D より 1 つ選んで回答した人数の合計を示している。

*園児数69 回収数63 保護者回収率91.3%

	項 目	保護者				職員				・取り組みと成果 *課題や改善方策
		A	B	C	D	A	B	C	D	
保育内容・研究推進	①わが子は、幼稚園の遊びを楽しみにしている	58	4	1	0	9	0	0	0	・登降園時やおたより、ホームページなどを通して、幼稚園での子どもの育ちや、教師の援助の在り方などを保護者に伝える工夫を重ねてきたこともあり、子どもが実現したいことに向かって試行錯誤する姿を教師が支えているという、概ね好意的な評価につながったのではない か。 ・子どもたちは日々の遊びを楽しみ、期待をもって登園したり、友達と
	②わが子は、学級に気の合う友達がいる	52	11	0	0	6	3	0	0	
	③幼稚園は、子どもが自分のやりたい遊びを実現できるように見守ったり、支えたりしている。	53	10	0	0	5	4	0	0	
	④わが子は、自分なりに考えたり、工夫したりしながら遊ぶようになってきている	52	10	1	0	5	4	0	0	

保育内容・研究推進	⑤わが子は、自分の考えを相手に伝えようとするようになってきている	34	25	3	1	6	3	0	0	のつながりを深めたりすることができた。 ・神戸大学附属幼稚園における文部科学省委託研究に、実践協力園として実践事例を提供するにあたり、事例を深く読み取って子どもの学びを検証してきた。子どもの考えようとする力を育む援助の在り方について探ることができた。 ・講師を招聘し、全クラス公開の園内研究会をもつことで、子どもの学びを見取る新たな視点を獲得することができた。 *考えようとする力を身に付け、活用できるように、子どもの発達段階に応じた教師の援助や環境の構成を今後も継続していきたい。 *項目⑤⑥については昨年度よりやや改善したものの、他と比較すると評価が低めであるので今後も重点的に取り組んでいきたい。
	⑥わが子は、友達を大切に思う気持ちや、思いやりの心が育ってきている	32	27	4	0	6	3	0	0	
幼児理解・保護者や地域との連携	⑦幼稚園は、小学校や中学校、保育所などの学校間交流や地域交流をよく行っている	51	12	0	0	9	0	0	0	・川西北小学校との交流では5年生とのペア活動が就学後に1年生と6年生のペア活動に引き継がれ、1年生が安心して学校生活をスタートできたという話を小学校の先生からお聞きすることができた。 ・地域の農家の協力を得て行っている米作りでは、作物を育てる大変さと収穫の喜び、自分で調理する楽しさから、食育の推進につながった。 ・運動会や生活発表会では行事当日の参観だけでなく、数週間前に自由参観をもつことで、遊びの過程や試行錯誤しながら取り組む様子を保護者に知っていただく機会となった。 *写真を活用し視覚的に育ちを伝える工夫として、ドキュメンテーションに取り組んだ。今後も幼稚園の学びについて発信の工夫に努めたい。
	⑧幼稚園は、子どもの様子や育ちを、降園時やクラスだより、ホームページなどで分かりやすく伝えている	41	21	0	0	8	1	0	0	
	⑨保育参観を通して、子どもの様子や育ちを感じることができる	39	22	2	0	7	2	0	0	
	⑩幼稚園は、保護者からの相談に誠実に対応している	44	16	3	0	7	2	0	0	
環境整備・安全管理	⑪幼稚園は、園庭の花木、畑を整備し、季節を感じられるように努めている	58	3	2	0	9	0	0	0	・広い園庭に畑や果樹がたくさんあり、栽培物を育て、収穫する楽しさを経験できた。 *毎月、職員が施設や遊具の安全点検を行っているが、見落としのないよう安全面に配慮したい。 *広やかな園庭や畑、木々は本園の魅力であり、今後も安全面への配慮をしながら保全していきたい。 *園庭開放では、保護者同士が子育てについて交流を深めると共に、子どもの安全を確保してもらえよう、啓発を続けていく。
	⑫幼稚園は、施設、遊具の安全に努めている	40	22	0	1	8	1	0	0	
	⑬幼稚園は、避難訓練などを行い、子どもが災害時に安全に行動できるよう指導している	57	6	0	0	9	0	0	0	
	⑭幼稚園は保護者への緊急連絡がスムーズに伝わるようにしている	52	10	0	0	8	0	0	0	

4 学校園関係者評価結果

○評価委員会開催日 平成29年3月8日

○評価委員会参加者 学校評議員 川西北小学校長
北小地区民生児童委員
滝山自治会長

28年度なでしこ会 会長
副会長
副会長

川西北幼稚園 園長

○内容

- ・年間の取り組みについて（特に前回評議員会後の教育活動について）
- ・学校評価アンケートについて
- ・今後の課題と方策について

	項 目	評価委員会				・評価 *今後の方策
		A	B	C	D	
保育内容・研究推進	①わが子は、幼稚園の遊びを楽しみにしている	6	0	0	0	・幼稚園で2年間過ごし、子どもの成長の著しさを嬉しく感じる。 ・川西北幼稚園の、のびのびとした環境や、教師が子どもを支える援助の在り方が子どもに合っていると感じている。 ・子どもがいろいろなことに挑戦しようとするようになり、自信をつけている姿を嬉しく感じている。 *「自分の考えを相手に伝えようとする」は、小学校でも課題になっている。その時その時の発達に応じた援助を通して、子どもが身に付けていけるようにすることが大切である。
	②わが子は、学級に気の合う友達がいる	5	1	0	0	
	③幼稚園は、子どもが自分のやりたい遊びを実現できるように見守ったり、支えたりしている	6	0	0	0	
	④わが子は、自分なりに考えたり、工夫したりしながら遊ぶようになってきている	3	3	0	0	
	⑤わが子は、自分の考えを相手に伝えようとするようになってきている	4	2	0	0	
	⑥わが子は、友達を大切に思う気持ちや、思いやりの心が育ってきている	5	1	0	0	
	⑦幼稚園は、小学校や中学校、保育所などの学校間交流や地域交流をよく行っている	6	0	0	0	・幼小の教師間で交流のねらいを話し合うことで、幼児なりに自分の力でやってみようとする姿を小学生が支えたり、小学生の姿に

幼児理解・保護者や地域との連携	⑧幼稚園は、子どもの様子や育ちを、降園時やクラスだより、ホームページなどで分かりやすく伝えている	6	0	0	0	憧れたりするかかわりにつながった。教師間で子どもの育ちを共有する大切さを感じている。 ・学校評価アンケートが子どもにとって有益となるように、評価・考察していく。 ・成長過程にある子どもたちが、立ち止まろうとしているのか、進もうとしているのか見極めていく。また、子どもの姿や学びを発信することで理解や連携がより深まるように工夫し、継続していく。
	⑨保育参観を通して、子どもの様子や育ちを感じることができる	6	0	0	0	
	⑩幼稚園は、保護者からの相談に誠実に対応している	5	1	0	0	
環境整備・安全管理	⑪幼稚園は、園庭の花木、畑を整備し、季節を感じられるように努めている	6	0	0	0	・園庭は美しく整備され、四季を十分感じられる工夫をしている。 *認定こども園創設に向けて、地域や小学校と共に進めていける体制を整えていく。
	⑫幼稚園は、施設、遊具の安全に努めている	4	2	0	0	
	⑬幼稚園は、避難訓練などを行い、子どもが災害時に安全に行動できるよう指導している	6	0	0	0	
	⑭幼稚園は、保護者への緊急連絡がスムーズに伝わるようにしている	6	0	0	0	

○学校園関係者評価については、学校評議員会を活用し、評価委員会を行った。

○運動会、音楽会、生活発表会、収穫パーティーなどを参観していただき、子どもの姿を通して、幼稚園教育や運営について意見をうかがうことができた。

○保護者対象の評価アンケートの結果を公表し、前年度の課題を受けて今年度に重点的に取り組んできた教育活動を説明した。来年度に向けた課題や方策について示唆を頂くことができた。

○認定こども園創設に向け、地域や小学校と連携しながらよりよい方向を模索することができた。

○これらの示唆を今後の幼稚園運営に活かしていきたい。